

感染状況・医療提供体制の分析(10月4日公表)

【岡山県専門家有志】 詳細
(東京都統括コメント参照) →



区分	モニタリング項目 公表の前週(月～日)の合計	前回の数値 (9月27日公表) 9月16日～9月22日	現在の数値 (10月4日公表) 9月23日～9月29日	前回との比較	分析コメント	
感染状況	① 定点当たり患者報告数 (注:報告者数は、県内84定点医療機関において、1週間に診断した患者数。定点当たり数は、1医療機関当たりの、1週間での平均患者数。)	報告数	383人	291人	→	<div style="background-color: yellow; padding: 5px;"> 感染状況コメント レベル2. 感染縮小しつつあるが注意が必要 </div> <p>定点当たり患者報告数は3.46人とやや減少。A群β溶血性レンサ球菌咽頭炎はやや高止まり。マイコプラズマ肺炎は全国的にやや多い。</p> <p>人の移動や集まりは一旦落ち着いたからか、全国的にも岡山でも感染者数は減少傾向。しかし、高齢者が重症化しやすいというウイルスの特徴に変わりはない。状況に応じたマスクの適正使用、適切な換気が必要となる。特にハイリスクな方へはうつさないよう工夫が必要。</p> <p>入院患者数やや減少。ハイリスク患者は早期診断・早期治療が必要。</p>
		定点当たり数	4.56人	3.46人	→	
		報告数に占める60歳以上の割合	32.4%	33.3%	→	
	② 保健所別定点当たり患者報告数 (注:定点医療機関は、地域により患者数や患者の年齢構成にばらつきがあり、地域別の単純比較は多少の問題があるが、同じ地域で時系列の変動を見て、流行の推移を見るには有用)	岡山市保健所	2.95人	1.64人	→	
		倉敷市保健所	6.31人	4.81人	→	
		備前保健所	3.30人	2.73人	→	
		備中保健所	5.00人	3.67人	→	
		備北保健所	5.17人	5.33人	→	
真庭保健所	3.33人	3.00人	→			
美作保健所	7.10人	5.20人	→			
入院状況	③ 入院患者数 (入院基幹定点サーベイランスより)	31人	22人	→		
	④ 人工呼吸器利用 (入院基幹定点サーベイランスより)	0人	0人	→		

*入院状況については、基幹定点医療機関(5箇所)での入院基幹定点サーベイランスより取得。感染状況コメントの中に、医療提供体制に関するコメントも付記します。